

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念を作り、スタッフで共有、実践している。	○	地域との関係強化を考えた理念の見直しを検討する。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設内に理念を掲示したり、日々の暮らしの中やケアプラン作成の際にも理念を主体に考え取り入れて話し合いをしている		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	毎月発行する家族への近況報告書にも理念を簡素化して載せている。	○	家族や地域自治会などに発行する夕照苑便りの中にも掲示していきたい。
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方とは気軽に挨拶を交わしている又、自治会を通じ夕照苑だよりを回覧して貰い施設を知って貰うようにしている。	○	気楽に立ち寄って貰えるような関係作り
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入している。地域活動として、草刈や地蔵盆に参加。今年は防災訓練に利用者も参加した。近隣在住の園児の訪問がある。	○	地域の行事への参加を模索中
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	知的障害者作業所みずほととの交流の際やボランティアの訪問時に認知症に関しての説明や理解を求めている。	○	地域の高齢者に役立つ情報を夕照苑だよりに載せたり、介護相談などを気軽に受け付けられるような環境作り。
地域との付き合い 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員に意義を伝え、理解し、全員で評価に取り組むようにしている。昨年度の評価の際に指摘のあった問題点、課題点はすぐに職員全員に報告され話し合い改		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行いそこでの意見を参考にし、サービスの質の向上に努めている。又、年度ごとの取り組みも報告し、意見をもとめている。	○	参加人数が少ない為、多くの人が参加出来るように考えて行きたい。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市との相談窓口を持つ。 市の担当窓口に対し、施設の実情やケアサービスの取り組みを伝えたい	○	市との関係を積極的に活用し、サービスの質の向上や施設運営の参考にして行きたい。
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者や一部の職員は知識を習得し必要であれば実践する事が出来るが、全職員が知識を習得しているとは言いがたい	○	研修会への参加、報告を行い全職員が知識を習得し実践できるように努める
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持つ。 言葉での虐待などもする事の無いよう全職員に周知徹底している。	○	高齢者虐待防止関連法に関しての研修会があれば積極的に参加し勉強会を開く
理念を実践する為の制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が夕照苑のケアに関する考え方、取り組みなど説明し、一つ一つ理解して貰えるように契約者に説明し、疑問に応えるようにしている		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が直接不満・苦情を訴えることはないが、日常生活の中の会話のやり取りや行動の中から見つけ出すようにし、対応するように努めている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、近況報告書で担当者から個々の家族へ報告を行っている。又、急な体調変化等で受診した際には、受診結果やその後の状態等を電話連絡するようにしてい	○	面会時に個人のケース記録を見て貰ったり、日々の様子を報告する

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会が設けられず、家族同士の話し合いの場がない為、苦情箱を設置している。	○	年に何度か家族にアンケート調査等を行い、運営に反映させるようにしたい
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の会議の際に、職員個人々の意見を聞くようにしている。又、日頃の会話の中からも職員の意見に耳を傾けるようにしている		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	余裕を持った人員の確保は出来ているとは言いがたいが、必用に応じ対応するように心掛けている。夜間の緊急時などは、常に対応するように待機者を設けて	○	理念を共有実践できる人材の確保
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	担当職員が対応しているが夜勤・休日等で不在時には、他の職員が対応出来るようにしている。1ユニットのせい利用者担当の意識がなくダメージは現在の所見られていない	○	家族に説明・報告を行い理解を得る。サービスの質の向上の為に必用とあれば利用者へのダメージを抑え、職員を交代することを考える
理念を実践する為の体制 7項目中 6項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定例会議や日常勤務内で指導を行い、職員は必要に応じて研修会に参加し報告書を作成、会議で発表し、全職員が知識を共有できるようにしている。	○	パート職員の研修会への参加
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会を通じ知り合った同業者や顔なじみの同業者との交流を図り、情報収集やサービスの質の向上に努めている。転職者は全職場の同業者との交流を通じ情報を報告している。	○	他事業所の見学
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の親睦を図り食事会を設け職員の声に耳を傾けたり、勤務終了後には労いの声を掛け相談があれば話を聴くようにしている。	○	勤務内での休憩場所、休憩時間の設置
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	健康診断を年一度実施し、悩みを気楽に打ち明けられる環境を提供する事で、心身の健康を保つように心掛けている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の面談は必ず、利用者本人・家族と面会し話し、生活状態や心身の状態を把握するように努めている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の状況を理解するよう会話の機会を多く持つようにしている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容を良く理解し、出来る事は直ぐに対応、出来ない事に対しても何らかの提案を行うようにしている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	2～3人の職員が何度か面接し、顔なじみの関係を作り安心感を与えるようにしている。又、入所時は家族の付き添いで入所して貰い本人が暮らしていた環境に近い居室造りや家族の写真を貼るなどし		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴に注目し、一方的に押し付けるのではなく得意な話を聞いたり教えて貰ったりするように支援している。共に家事をしたり昔からのしきたりを教えて		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子など毎月近況報告にて家族に伝えるようにし、面会の際には、職員が声を掛け暮らしぶりを伝え、困ったことやケアプランの内容等を相談している。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事等の家族の参加を呼びかけたり、ふれあいの場を設けるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	今までの生活習慣やなじみの人との交流 を妨げる事の無いよう支援している。 知人の訪問などの受け入れ。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	気の合う利用者同士で散歩に出かけたり、 利用者が他の利用者の世話をしてく ださる時は職員が側で見守るようにして いる。	○	個人の話やゆっくり聴ける場を提供す る。利用者の言動や表情から利用者 同志の関係を知るように努める。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必用とあれば相談にのったりしている。 長期の入院などで退所された利用者には 職員が御見舞に行くようにしている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で、声を掛けたり行動や表情の中から想いを知るようにしている。又解らないときには家族に相談している。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者との会話や昔話の中から情報を得たり、家族の訪問時に話を聴き情報を得るようにしている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人記録などを読み日頃の暮らし振り心身状況を把握し、その日の言動から体調や精神状態の把握に努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃の関りあいの中で本人の思いや希望を知るように努め、それを会議の中で報告し、職員全員で意見交換し、ケアプランに反映させている。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の暮らしの中で、心身の変化に注意し、その場の職員で話し合い必要に応じ、急ぐ場合は直ぐにケアマネに連絡をとり、会議の開催をまたずに対応している。	○	ケアプランの見直しの時期に拘らず 必要であれば、ケアマネを中心にその場で話し合い見直す。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの期間に応じて、個別介護記録を元にプランを見直し、無理のない現状に即したケアプランを作成している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の希望や状況に応じて、通院や送迎などの支援に対応している。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎年一度、地域の消防署員による消防訓練を行っている。民生委員との意見交換を行っている。地域のボランティアの受け入れ、みずほとの定期的な交流を行っ		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の状況に応じて配食サービスを受けたり、ボランティアの見守り支援をお願いしている。	○	介護保険以外の地域の生活支援サービスの活用
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターの職員が運営推進会議に参加しており、その都度アドバイスを受けている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域の開業医と良好な関係を持ち定期的に受診し往診も行っている。必要に応じ家族の了解の下受診し、その結果は家族にも報告している。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	瀬田川病院を利用している	○	本人・家族の希望を取り入れ受診の支援をして行きたい
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に看護師は居ない為、かかりつけ医に相談・報告し、医師の指導のもとに健康管理をおこなっている。	○	かかりつけ医との連携を強化し、医師の指導のもとに健康管理を行う。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医師の診断と家族の希望を聞き、施設での対応が可能になればなるべく早く退院できるように受け入れ態勢を取っている。職員が見舞うようにし、回復状況等を家族に問い合わせている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族との話し合いを通じて、意向を確認しているが、書面に残す等の形式は執っていない。	○	早期に話し合いを持ち、意向を書面に残し家族、本人の同意を得るようにする。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	早期に確認した意向を踏まえ、医師・職員が連絡をとり、その都度、家族と相談しながら取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	希望により住み替えが行われる際には、アセスメント、ケアプランや介護サマリーを事前に渡し情報交換するようにしている。		
地域資源との協働 10項目中 8項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	プライバシーに配慮した声かけを行うようにしており、申し送りの際にも、利用者に聞こえないように行っている。	○	電話での問い合わせに注意して対応したい。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	無理強いせず、本人が意思決定できるように声かけを行っている。意思表示が困難な方には、表情や行動で読み取るようにしている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、その日の体調などにより特に時間を決めていない。起床・就寝時間等はかなり遅くならない限り本人の自由にして貰っている。		
その人らしい暮らしの支援(1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	基本的に本人が衣類を選んで着ている。季節に合わない服を着ている時は、本人のプライドを傷つけないようさりげなくアドバイスするようにしている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に合わせて一緒に食事の用意や盛り付け、後片付けをして貰っている。献立を1から考えることはあまりされないで、食材を見せどのようにしてたて		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲物等は、本人の嗜好に合わせて提供している。お酒・タバコに関しては、かかりつけ医と相談し健康に支障がなければ提供する。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の間隔をチェックし、トイレ誘導することで排泄の失敗を少なくしている。尿意のない利用者も日中は下着に尿パットのみでトイレに誘導している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を聞き、体調を考えて入浴して貰っている。入浴を嫌がる際には、服を着替える等といい脱衣場に誘うようにしている		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自由に昼寝して貰っている。特に訴えない利用者に関してはその日の体調や状態に合わせて休息してもらっている。就寝前に足浴をして良く眠れるように工夫し		
その人らしい暮らしの支援(2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の残存機能、嗜好を考え、カラオケ教室に通ったり、食事の盛り付け・食器拭き、洗濯物を干したり、畳んだりして貰っている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	多額の金銭は所持しないようにして貰い。必要に応じ、家族了解のもとで希望があれば職員が同行している。	○	個人の能力に応じ金銭管理を行う。
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調を考え、本人の希望や気分転換のため散歩したり外出する機会を多くとるようにしている。	○	
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節行事の中の一つとして外出したり、本人の希望があれば、家族と相談しプランを考えている。	○	
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば、電話で家族や親戚と話をされています。又、年賀状のやり取りをされている際には、ポストへの投函などを援助するようにしている。	○	
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時には、各個人の部屋で過ごしてもらえるようにしている。		
その人らしい暮らしの支援(3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	大津市の指導を受け、改善・対応している。	○	研修に参加し、運営者及び全職員が正しい知識を見につけるように学習する。

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はついておらず今後もつける予定はない。日中玄関に鍵はかかっている。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の居場所を職員が把握するように努め、居室に居る場合でも、声を掛けるなどし、体調の変化や事故に注意するようにしている。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人にとって危険であるかないかを判断し、常に注意をはらい見守るようにしている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者一人一人の事故を予測し未然に防ぐように努めている。ヒヤリ-ハットの記録により職員全員が事故要因を考え対応出来るようにしている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	安全介護マニュアルに基づき、発生時の連絡、退所方法を身につけるようにしている。	○	救急救命講習会への参加
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年一度消防署の協力のもと、訓練を実施し研修している。又、地域の防災訓練への参加、災害時には近隣の協力を得られるように働きかけている。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	自由な暮らしの中で起こりうるリスクについて家族への説明を行い、理解を得られるように努める。		
その人らしい暮らしの支援(4)安心と安全を支える支援 8項目中 7項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃の状態を良く観察し、食欲・顔色・様子の変化があれば直ぐにバイタルチェックを行い、その場の職員で話し合い必用であればすぐに医師の診察を受けられる		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のコピーを個人記録の表紙に貼付し、職員全員が内容を把握できるようにしている。服薬時は本人に直接手渡し、服用の確認を行っている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な運動や水分補給に注意し、食事のなかに繊維質を多く含む食材を使用し、乳製品を毎朝必ず採るようにしている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後、洗面所に行く機会を設け、口腔ケアを行っているが、拒否などあり充分とは言えない。入眠前には義歯を洗浄液に漬けている	○	毎食後の歯磨・うがいの実施
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個人の運動量、既往症、好き嫌いを考え提供している。	○	水分摂取量のチェック
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防の講習会へ参加し、講習内容は全職員に報告した。食事前の手洗い、インフルエンザの予防接種を行っている。	○	感染予防のための知識の向上
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾・まな板の除菌、職員の毎月の検便、調理前の手洗い除菌、作り置きはしない、国内産の野菜や肉・魚を購入している。		
その人らしい暮らしの支援(5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にベンチを置き、建物の周囲にプランターを設置し季節の花々を植え親しみやすい雰囲気作りをしている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた模様替えや、玄関には、利用者が靴をはきやすいようにベンチを設置している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室になっているが、気の合う利用者同士がお互いの部屋を行き来されている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた鏡台や家族の写真、夫の位牌などを置かれて入所以前の環境を思い出させるようにしている。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	部屋の喚起を行い、冷暖房で温度調節している。乾燥しないよう加湿器を設置している。		
生活環境作り(1)居心地の良い環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりをつけ通路には障害物を置かないようにしている。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その人に応じた納得のいく説明をしている。トイレには使っているあいているの表示板を取り付け解りやすいように工夫している		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にベンチやいすを置き。夕涼みや外気浴が出来るようにしたり、建物の周りにプランターを置き水遣りや野菜の収穫が出来るようにしている。		
生活環境づくり(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

食材選びに注意し、美味しく安全な食品を提供するようにしている。フットケアの一環として就寝前に足浴やフットマッサージをしている。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	6 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	8 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

地域密着型として理念を皆で共有し、家族や地域とのかかわりを持ちながら、特に地域の中での立場をふまえスタッフ一同地域活動に参加し夕照苑の活動について理解・協力を得られるようにしています。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

利用者・家族・スタッフは初対面のときから、困っていることなどの話し合いの場を持ち、利用者本人のようすを見極めながら、以前からの環境をなるべく継続しつつ、信頼関係を築くようにしています。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目/4項目)について

利用者、一人ひとりの思いや暮らし方を尊重し、現在の心身の状態を考慮しつつ、ケアマネジャーを中心にスタッフ全員でケアプランを考えています。又、個人の現状に即した柔軟な対応が出来るよう記録や情報の共有、プランの見直しを行っている。利用者の意向や必要におうじて他のサービス期間の利用、かかりつけ医の支援や専門医の受診を受けられるように支援しています。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (7項目/7項目)について

利用者のプライバシーや自己決定については可能な限り支援しています。嗜好については、かかりつけ医、家族と相談し対応しています。大まかな1日の流れはありますが、個人の生活のペースに合わせられるように柔軟に対応するようにしています。日々のバイタルチェックや随時居場所の確認を行い心身の安全に注意しつつ自由に行動できるように見守っています。体調を整えるために、かかりつけ医と相談しながら、食材や食事なども工夫しています。日々の暮らしの中で、スタッフからの提案などを取り入れ、感染症の予防や健康管理を柔軟に行っています。

V サービスの成果に関する項目について

スタッフについて、介護に取り組む姿勢は全員同じ思いで取り組んでおりますが、知識の不足や経験不足から一部十分ではない部分が見られます。社内研修等の機会を増やし知識の習得に努めてゆきたいと考えています。尚、家族さんとの関係は極めて良好であると考えています。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 2007年 7月 31日

前回評価年月日：2006年 8月 5日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	平成 20年 4月
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
15	1	運営に関する家族の意見 の反映	平成19年9月 ~平成20年3 月	会議への家族の参 加の声かけ。アン ケートの実施。		平成 20年 4月
65	2	身体拘束しないケアの実 践.	同上	研修に参加し、正し い知識の習得		平成 20年 4月
47	3	重度化や終末期に向けた 方針の共有	同上	家族・本人と早期に 話し合い、書面に残 し同意を得るように		平成 20年 4月
41	4	他のサービスの活用支援	同上	地域での生活支援の 活用に取り組む		平成 20年 4月